

2 子どもの生活の状況

(1) 放課後に過ごす場所

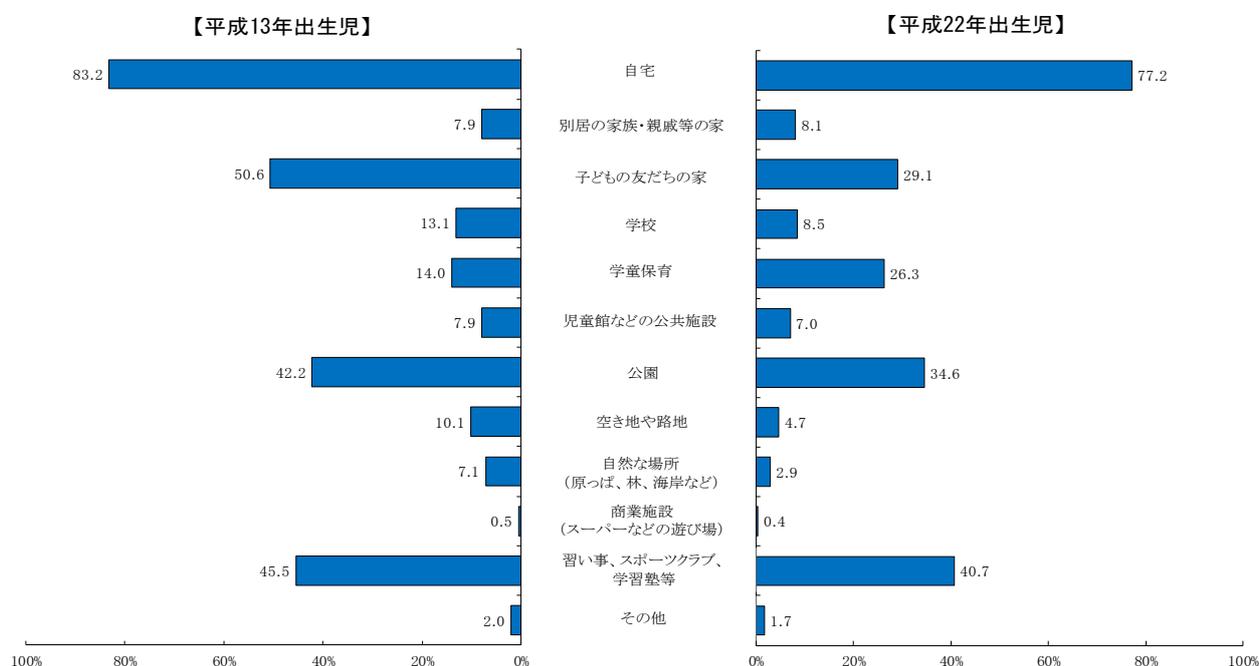
放課後に過ごす場所は、「学童保育」の割合は26.3%と、平成13年出生児(第9回)の14.0%に比べて12.3ポイント高い

平成22年出生児について、放課後に過ごす場所(複数回答)をみると、「自宅」が77.2%と最も高く、次いで「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」が40.7%、「公園」が34.6%の順となっている。

また、平成13年出生児と比較すると、「学童保育」の割合は12.3ポイント高くなっている。(図3)

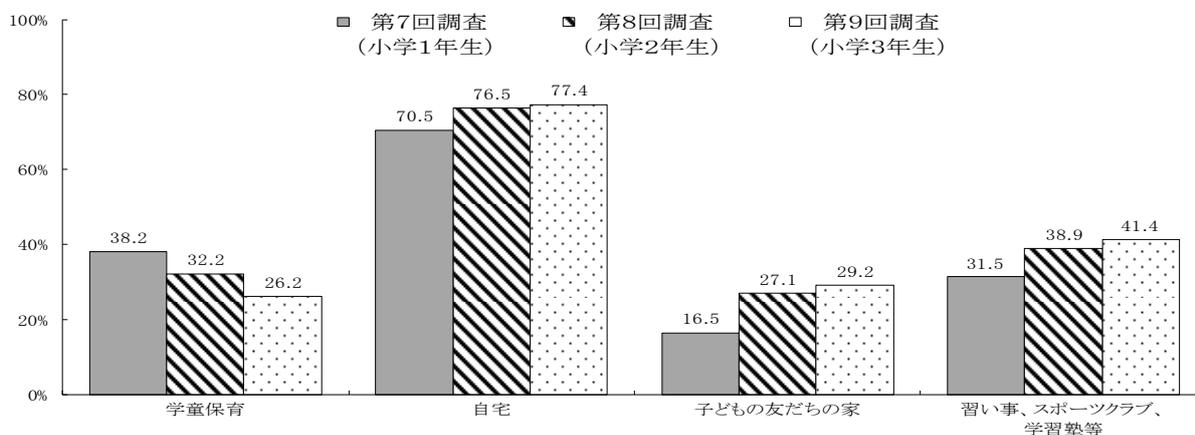
平成22年出生児について、第7回調査(小学1年生)から第9回調査(小学3年生)までの放課後に過ごす場所(複数回答)の変化をみると、学年が上がるにつれて「学童保育」の割合が低下している一方、「自宅」、「子どもの友だちの家」、「習い事、スポーツクラブ、学習塾等」の割合は上昇している(図4)。

図3 放課後に過ごす場所の世代間比較(複数回答)



注：第9回調査の回答を得た者(平成13年出生児総数35,264、平成22年出生児総数24,204)を集計。

図4 放課後に過ごす場所の変化(複数回答)【平成22年出生児】



注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者(総数21,744)を集計。

(2) 習い事等

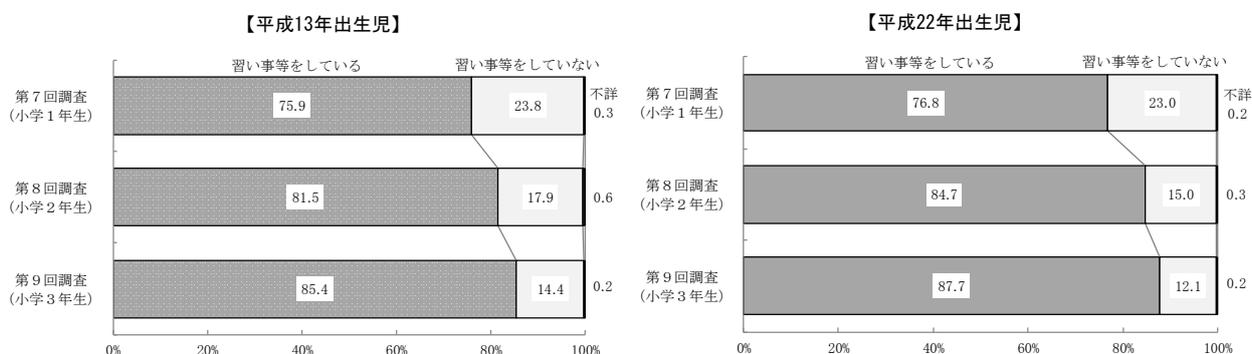
「習い事等をしている」割合は 87.7%で、学年が上がるにつれて上昇

平成 22 年出生児（第 9 回）の「習い事等をしている」割合は 87.7%であり、平成 13 年出生児（第 9 回）の 85.4%に比べて 2.3 ポイント高くなっている。

第 7 回調査（小学 1 年生）から第 9 回調査（小学 3 年生）までの習い事等の有無の変化をみると、平成 22 年出生児、平成 13 年出生児のいずれも、学年が上がるにつれて「習い事等をしている」割合が上昇している。（図 5）

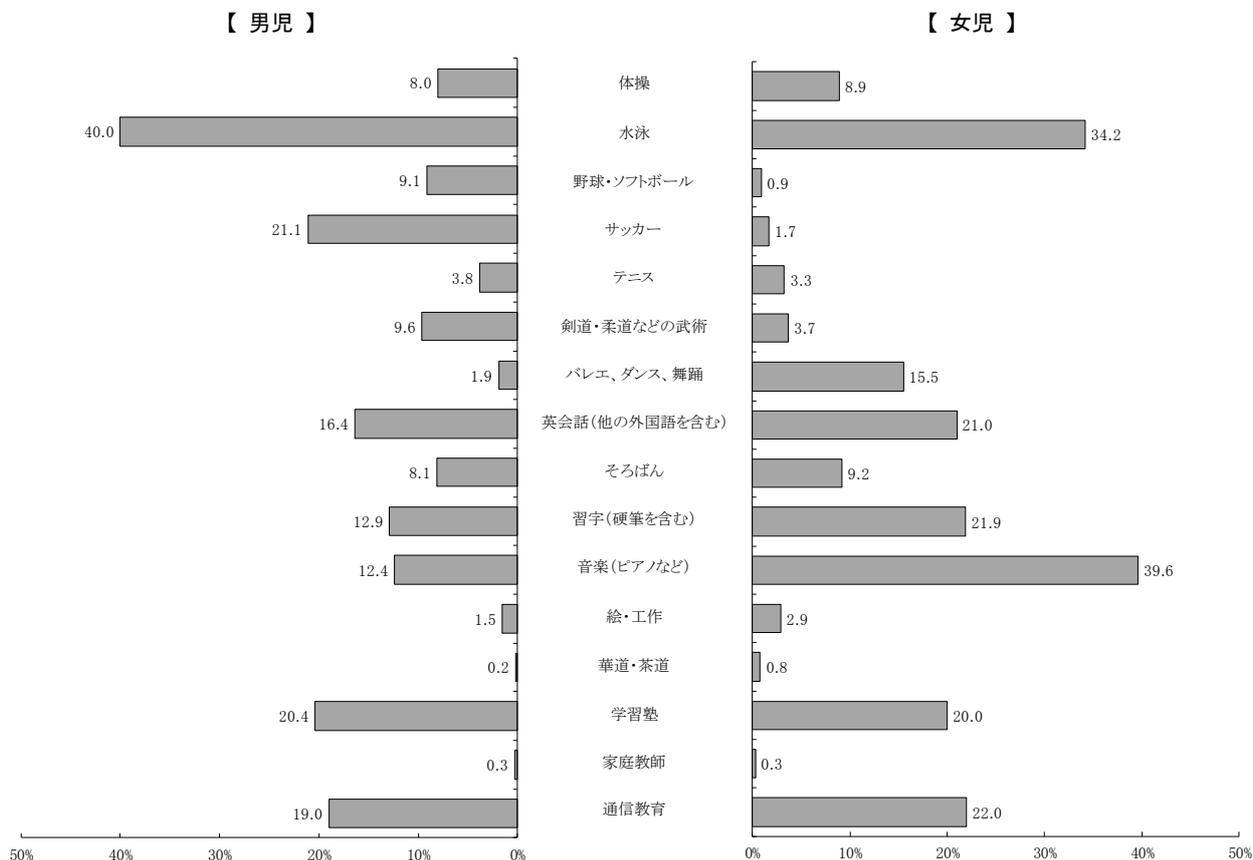
また、平成 22 年出生児について、性別に習い事等の種類（複数回答）をみると、男児では「水泳」が 40.0%と最も高く、次いで「サッカー」が 21.1%、「学習塾」が 20.4%、「通信教育」が 19.0%となっている。女児では「音楽（ピアノなど）」が 39.6%と最も高く、次いで「水泳」が 34.2%、「通信教育」が 22.0%、「習字（硬筆を含む）」が 21.9%となっている。（図 6）

図 5 習い事等の有無の変化・世代間比較



注：第 7 回調査から第 9 回調査まですべて回答を得た者（平成 13 年出生児総数 33,316、平成 22 年出生児総数 21,744）を集計。

図 6 性別にみた習い事等の種類（複数回答）【平成 22 年出生児】



注：第 9 回調査の回答を得た者（総数 24,204（男児 12,423、女児 11,781））を集計。

(3) 母と一緒に過ごしている時間

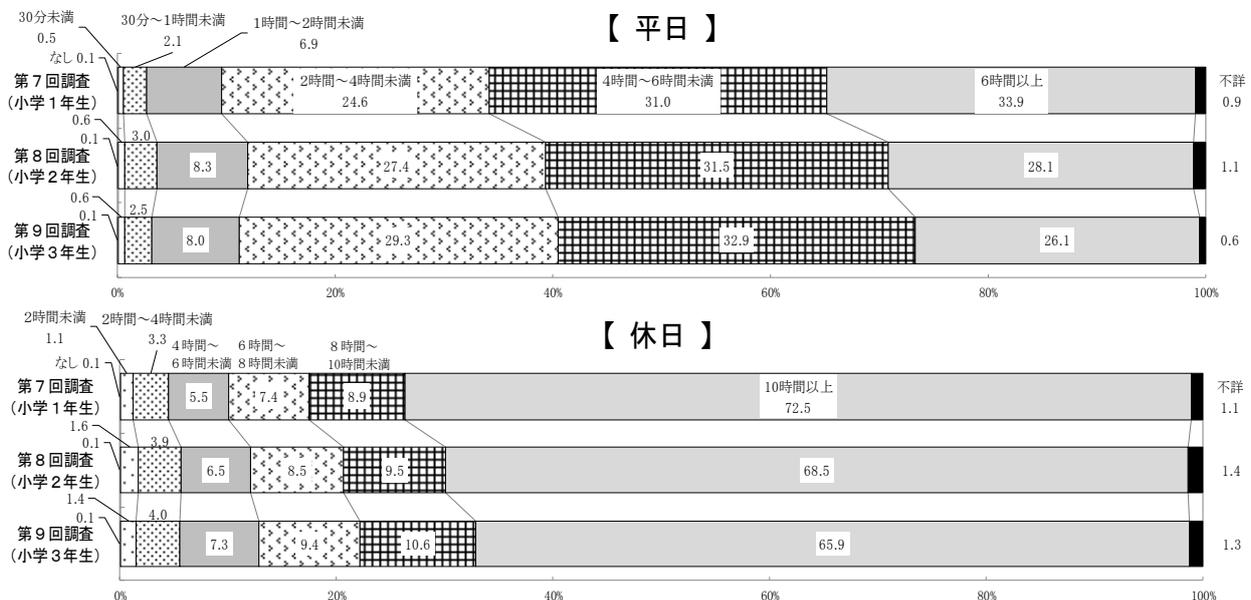
母と一緒に過ごしている時間は、平日の最も長い時間帯の「6時間以上」は26.1%、休日の最も長い時間帯の「10時間以上」は65.9%となっており、学年が上がるにつれて低下

平成22年出生児（第9回）について、母と一緒に過ごしている時間をみると、平日の最も長い時間帯の「6時間以上」は26.1%、休日の最も長い時間帯の「10時間以上」は65.9%となっている。

第7回調査（小学1年生）から第9回調査（小学3年生）までの平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の変化をみると、平日、休日ともに、学年が上がるにつれて長時間（平日は「6時間以上」、休日は「10時間以上」）。以下同じ。）の割合は低下している。（図7）

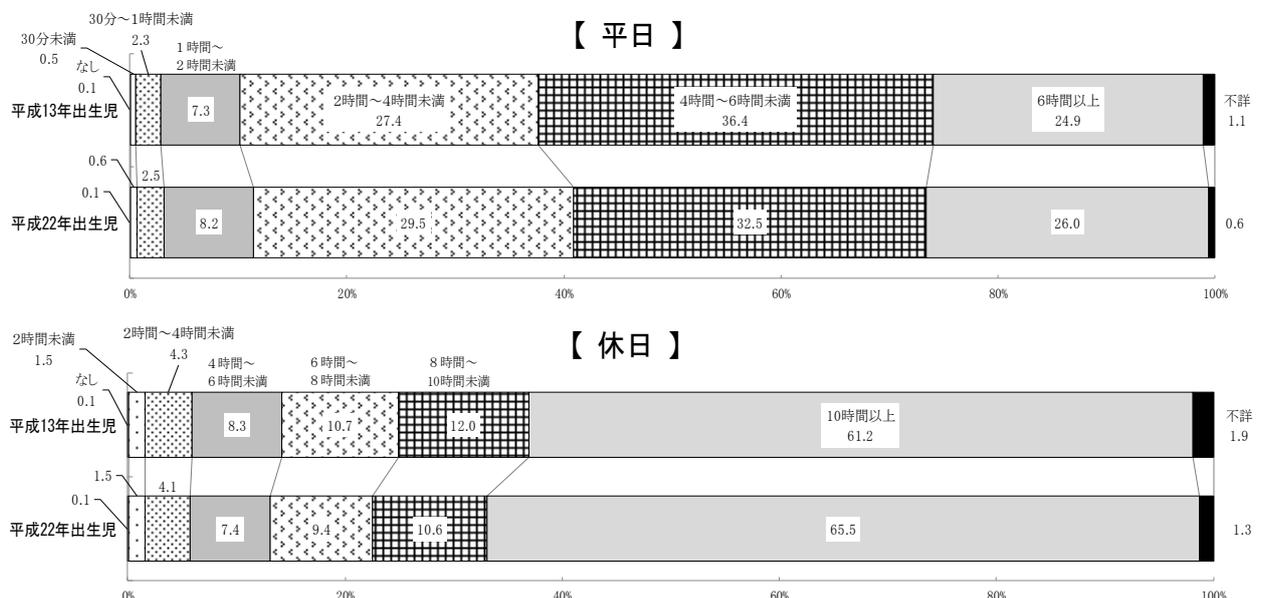
また、平成13年出生児と比較すると、いずれも長時間の割合は高くなっている（図8）。

図7 平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の変化【平成22年出生児】



注：第7回調査から第9回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数21,625）を集計。

図8 平日－休日に母と一緒に過ごしている時間の世代間比較



注：第9回調査の回答を得た者のうち、母と同居している者（平成13年出生児総数34,961、平成22年出生児総数24,077）を集計。